



石口 智志 (水曜云 60分)

子ども科学館・未来館の建設は

問 科学館のような子どもたちの好奇心をかき立てる場は、ものづくり企業が多い備後圏域では意味のあるもので、将来の職業選択にもつながる。また、福山駅周辺のにぎわい創出にもつながると考えるが、どうか。

答 実験や展示、イベントを通じてさまざまな分野を学ぶことができる施設は、子どもたちの創造性を育む場としてだけでなく、世代を超えた交流の場としても有効であり、備後圏域の特色の一つであるものづくり産業に必要な人材育成の観点からも意義のある施設と考える。



塚本 裕三 (公明党 55分)

核兵器廃絶に向けた取り組みは

問 被爆体験の継承は。

答 ピース・ナビ事業等を通じて行っており、今後も高校生平和大使等の若い世代や市民団体等、多くの市民と連携して推進する。また、学校においては、平和学習で原爆語り部の方の被爆体験を聞くなど取り組んでいる。

頻発する自然災害に備えて

問 ①防災重点ため池の選定基準見直しにより既存の175カ所を含む1110カ所が選定された。ハザードマップ作成は。②安全な避難行動の取り組みは。

答 ①既存の175カ所は作成しており、残る935カ所は2022年度までに順次作成する予定。②県の「自主防災組織による避難を呼びかける体制づくり支援事業」と連携し、効果的な避難の呼びかけ体制の検討を深める。



喜田 紘平 (水曜云 60分)

小中学校での子どもものづくりの取り組みは

問 ①プール施設の今後の見通しと在り方をどう考えるか。②今年度末のエアコン設置完了を踏まえ、各家庭の負担軽減と教育の質の向上のため、夏休みを短縮化してはどうか。③学力向上に向けた取り組みは。

答 ①耐用年数を80年とした試算では、今後の1校当たりのライフサイクルコストは約2億4千万円と見込んでおり、長寿命化の取り組みとともに、現在、公共や民間の施設の活用を検討している。②短縮化は教職員の働き方改革など教育環境整備の一つであり、家庭の負担軽減にも有効と考え、実施に向けた検討を始めている。③学力向上アドバイザーに選任した文部科学省の専門官に指導、助言を求めながら、個に応じた学びの在り方等を考え、「子ども主体の学び」づくりを進める。



中安加代子 (公明党 50分)

児童虐待防止対策は

問 虐待の発生予防、早期発見のための体制整備は。

答 地域における相談窓口や子育て支援拠点の設置促進については、現在、地域子育て支援拠点事業を市内33カ所で行っており、子育て世代包括支援センターとしてネウボラ相談窓口「あのね」を12カ所

に設置して子育ての孤立化を防ぐための体制整備に努めている。また、体制強化のため、子ども家庭総合支援拠点の2021年度中の設置に向け検討している。児童虐待については、多くの関係機関が参画する要保護児童対策地域協議会で支援方針と役割分担を整理し、支援を行っている。「あのね」、子ども家庭総合支援拠点、児童相談所が緊密に連携することで、より効果的な対応ができるものと考えている。

※ライフサイクルコスト：企画設計の段階から、建設、清掃や点検・補修等の運用管理、解体の段階にわたる建築物の生涯に必要な費用の総額。

※ピース・ナビ：戦争の記憶を引き継ぐ学習を継続するとともに、学習の成果を「恒久平和の願い」として発信していく平和案内人。